

平成30年7月5日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

理事長 北村 隆志 殿

鉄道助成業務の審査等に関する第三者委員会

委員長 杉山 雅洋

鉄道助成業務に関する改善意見

これまで提言してきた改善意見について、平成29年度も適正に遂行されていると評価している。鉄道助成業務のさらなる充実・強化のため、下記の意見を提出するので、着実に実施されたい。

記

(1) 鉄道助成業務のより一層の適正かつ効率的な執行

補助金審査を実施する際の重点審査項目について、より適正かつ効率的な執行を図るため、特に注意して審査すべき項目を可能な限り明確な基準により策定すること。また、補助金審査時における改善指導事例を蓄積するとともに、関係者間で共有すること。

(2) 鉄道事業者等への助成制度の社会的意義の周知等

補助金申請事業者に対し、助成制度の社会的意義を周知すること。その際、法令遵守体制について徹底すること。

(3) 第4期中期計画に掲げた鉄道助成業務に関して執るべき措置の着実な実施

平成30年度は第4期中期計画の初年度であり、同計画の実効性を高めるよう、そこに掲げた措置を着実に実施すること。